

9月10日は「下水道の日」です

「下水道の日」は、1961年（昭和36年）、著しく遅れているわが国の下水道の全国的な普及（当時の普及率：6%）を図る必要があることから、このアピールを全国的に展開するため、当時の下水道を所管していた建設省（現在の国土交通省）、厚生省（現在は環境省に所管変更）と本会の前身団体が協議して「全国下水道促進デー」として始めました。

それから約40年。日本における近代下水道の基である「下水道法（当時は旧下水道法）」が制定された1900年（明治33年）から100年を迎え、その記念行事が行われたことや、2001年（平成13年）が21世紀のスタートの年にあたること、さらには近年の下水道に対する認識の高まりもあり、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

「下水道の日」が9月10日と定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に古くから台風シーズンとされる二百二十日が適当とされたことによります。

二百二十日とは雑節の1つで、2/4頃の立春から数えて220日目のことをいい、「にひゃくはつか」と読みます。

毎年、「下水道の日」の前後は、下水道について国民の理解と協力を得ることを目的として、全国各地の下水処理場で様々な下水道のイベントが開催されています。

静かに進む 下水道の限界に 気づいていますか



下水道管や下水処理場の老朽化が進んでいます。

普段は目に見えないからこそ、その変化には気づきにくいものです。

私たちの生活を支える下水道が限界を迎えている今、私たちが下水道を支えなければなりません。

今、そして未来の暮らしを守るため、下水道に目を向けてみませんか？

 「21世紀の下水道を考える会」協議会

協力:国土交通省

(公社)日本下水道協会、(公財)日本下水道新技術機構、(一社)日本下水道施設業協会、(公社)全国上下水道コンサルタント協会、(一社)日本下水道施設管理業協会、
(公社)日本下水道管路管理業協会、(公社)日本推進技術協会、(一財)下水道事業支援センター、(一社)日本下水道光ファイバー技術協会、(一社)日本建設業連合会

9月10日は下水道の日



日本下水道協会 HP